

たけ(たて) み な かたとみのみことひこかみわけじんじゃ なぎがま  
建 御名方富 命彦神別神社の薙鎌



△薙鎌

薙鎌は「なぎがま」または「ないがま」と呼ばれ、一見、鎌のような形をしているが、目も口もあり、背には鋸目がついているので、出雲族の系統に通有の土俗、蛇体のシンボルであり、諏訪信仰特有の呪具と考えられている。